

令和6年12月20日

牧之原市長 杉本 基久雄 様

牧之原市議会議長 村田 博英

### 職員の交通事故防止に関する申入書

行政運営は、市民の信頼の上に成り立っており、行政は、市民の信頼を失わないよう、法令・規範を遵守することはもちろんのこと、日々の業務にも誠実に取り組むことが求められている。

しかし、本日閉会した令和6年11月定例会において、公用車損害賠償に係る専決処分に関する2件の議案が追加上程された。交通事故（以下「事故」という。）の概要をみると、「ブレーキペダルと間違えて誤ってアクセルペダルを踏んだ」「考え事をしていてブレーキを踏んでいた足が緩み10m程度進んでいた」といったように、大事故につながりかねない非常に危険なものであった。

また、この他にも、令和6年の本会議において、今定例会に追加上程された事故を原因とするものも含め同様の議案が4件上程されている。

これまでも、議会としては、職員の事故については、公用車・私用車を問わずその発生件数の多さから防止策を講じるよう求めてきた。その結果、加害者を対象とした安全運転講習が実施されるなど、新たな取組が実施されていることも承知しているが、事故に係る議案の上程が絶えないのが実情である。

職員による事故は、市民からの信頼を失うことにつながり、行政運営に多大な影響を与えるだけでなく、被害にあわれた方の生命や生活はもちろんのこと、職員自身の生命や生活にかかわるものでもある。

言うまでもなく、職員は牧之原市の行政運営を支える大切な財産でもあり、牧之原市が引き続き発展していくためにも、職員には心身ともに健康に日々の業務に取り組んでいただく必要がある。

以上のことから、職員には今一度公務員としての自覚を持った行動をとるよう求めるとともに、組織としても職員の事故防止に資する取組の更なる検討及び実施を求める。